

令和6年度 小学部経営案

1 学部教育目標

- (1) 主体的に課題に取り組もうとする意欲や態度を育て、学習能力の向上を図る。
- (2) 集団での学習や体験を通して、友達への思いやりや協力する心を育てる。
- (3) 心身の健康の保持増進や体力の向上に努めようとする態度を育てる。
- (4) 相手の話をよく聞いたり、確実に相手に伝えようとしたりする態度や、コミュニケーション能力の向上を図る。

2 経営方針

- (1) 児童の実態（学力面・身体面・精神発達面）を的確に把握し、児童一人一人にあった具体的な指導・支援の在り方を工夫する。指導に当たっては、児童が自ら考え行動しようとする意欲や態度を喚起するよう適切な対応を行う。また、児童の心情に寄り添いながらも、精神的なたくましさを培うように支援する。
- (2) 学校生活の充実を目指し、児童の実態や教育的ニーズについて学部内で共通理解を図って指導にあたる。また、教師間での情報交換や話し合いを密にし、学部の全教師が全児童にかかわって指導に当たることを基本とする。
- (3) 児童の健全育成を図るために、家庭、他学部・寄宿舎等との連携を密にしながら指導にあたる。一人一人の課題を明確にし、具体的な指導方針や内容を提示したり、学校での取り組みの様子や成果について情報提供したりするなどして、具体的な子どもの姿を共有しながら連携を進める。
- (4) 社会性や心情的な面の育成のために、校内・地域等における集団での学習や体験的な活動を推進する。また、集団の中で学び合うことの意義や具体的場面について検討し積極的に取り入れて指導にあたる。

3 指導の重点

- (1) 言語活動を通して基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることができるようにする。
- (2) 互いの良さを認め合い、相手の立場に立った行動がとれるようにする。
- (3) 健康で安全な生活を送るために必要な知識、習慣を身に付けることができるようにする。
- (4) 互いのコミュニケーション手段を理解し、伝え合う力を高めることができるようにする。
- (5) あいさつや返事をする習慣を身に付け、周囲の人と気持ちよくかわり合うことができるようにする。
- (6) 一人一人の自己有用感や自己肯定感を高めることができるようにする。

4 小学部内分掌

校務部及び委員会の担当者が学部内の分掌も担当して計画に当たる。

分掌名	担当者名	分掌名	担当者名
教務部	竹井、中村、今	相談支援センター	中野、村上
研修部	村上、山口、鈴木	体育委員会	山口
指導部	三浦、鎌田	文化委員会	鈴木

5 行事等の担当者

- 小学部歓迎会（4月23日）・・・村上、今
運動会（6月1日）・・・山口、鈴木
修学旅行（6月20～21日）・・・村上、鎌田
宿泊学習（6月25～26日）・・・山口、竹井
水泳教室（7月12日）・・・山口
遠足（9月13日）・・・中村、鈴木
清掃奉仕活動（10月2日）・・・三浦、鎌田
学習発表会（11月2日）・・・村上、今、中村、三浦

スケート教室（12月）・・・・・・・・・・今
 スキー教室及び冬期野外活動（1月30日）・・山口、鈴木
 一日入学（2月5日）・・・・・・・・・・鎌田
 卒業生を送る会（3月7日）・・・・・・・・山口、今
 キャリア教育・・・・・・・・・・鎌田、今
 交流及び共同学習・・・・・・・・・・鎌田、今、学級担任
 部活動・・・・・・・・・・三浦、山口
 ALT交流・・・・・・・・・・鎌田

6 自立活動

(1) 帯の時間について

毎朝20分間、発音・発語、読話、聴覚学習、語彙理解に関する学習を中心に、その他、個々の実態に合わせ、必要な内容を計画的・継続的に行う。

(2) 合同自立について

特設自立の時間を設定（全5時間）し、「チャレンジタイム」と称し、学部全員で「ビブリオバトル（八畳バージョン）」を行う。本をきっかけとしたコミュニケーション活動を通して、思考力や判断力、表現力の向上をねらいとする。

7 交流及び共同学習について

(1) 柏崎小学校との交流を、各学年で行う。（学校間交流）

(2) 本人・保護者の希望に応じて、居住地校交流を適宜行う。

8 総合的な学習の時間

(1) 目標

ア 体験的・探究的な活動を通し、主体的に学ぼうとする態度を育てる。

イ 課題探求の過程や方法（課題設定、情報収集、整理、分析、発表）を身に付け、見通しをもって取り組む態度を養う。

ウ 活動を通して、互いを認め合う態度をはぐくむとともに、自分の良さに気づき、自己の生き方について考えようとする態度を養う。

(2) 活動内容

ア 横断的・総合的な課題（国際、情報、環境、資源エネルギー、福祉、健康、食、科学技術）

イ 児童の興味・関心に基づく課題（キャリア、ものづくり、生命）

ウ 地域や学校の特色に応じた課題（町づくり、伝統文化、地域経済、防災、交流及び共同学習）

9 道徳の指導について

(1) 目標

ア 自分自身と向き合い、誠実に生きていこうとする態度を育てる。

イ 相手の心を思いやり、礼儀正しく行動しようとするとともに、互いに協力し合おうとする態度を育てる。

ウ 自他の命を尊重し、よりよく生きようとする態度を育てる。

エ 集団の中で自分の役割を果たし、よりよい社会を築こうとする態度を育てる。

(2) 指導場面

道徳の時間及び、各教科、領域の指導時間等において、それぞれの指導内容について指導する。

10 特別活動

(1) 児童会活動

ア 基本方針

小学部児童全員で運営する。

イ 目標

自分の役割を自覚させ、意欲的に活動させることにより、成就感や仲間意識を育てる。

ウ 主な児童会活動計画

児童会活動	児童生徒会行事
内 容	内 容
<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動 ・児童総会① ・学部内係活動 ・小学部歓迎会 ・中体連壮行式 ・中体連新人戦壮行式 ・清掃奉仕活動 ・児童総会②係活動中間反省 ・児童総会③年間係活動反省 ・卒業生を送る会 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> 年間を通して、 月1回程度児童集会を実施 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> 年間を通して、 月7回児童生徒集会を実施 </div>

エ 児童集会（わくわく朝会）

(ア) 毎月行う。(8:30～ 8:50)

(イ) 高学年児童が中心となって運営にあたり、各係からの発表や連絡等を行う。